資料４

議題４　災害廃棄物に係る仮置場の選定等について（新城市提出）

市名	回答 （１）一次仮置き場の選定基準、運営方法について
名古屋市	市有地等（公園、緑地、グランド等）のオープンスペースの中から、発災後に被災状況に合わせて、他の利用用途と調整して仮置場の選定を行う。 仮置場の運営については、災害時の協定を締結している民間事業者に協力を依頼する予定。
豊橋市	【選定基準】 ・重機による廃棄物の積み上げや選別等の作業が可能な面積を有すること ・重機による廃棄物の積み上げや選別作業時の騒音、粉塵等の発生により、近隣住民等の生活環境が著しく悪化しないよう十分な距離が確保できること ・水源や病院、学校等、環境保全上留意が必要な施設に近接しないこと ・廃棄物の搬入・搬出車両等や作業用重機等の進入路が確保できること ・主要道路からの搬入・搬出に便利なこと ・中長期にわたる使用ができること ・2次災害や地域の基幹産業に影響の小さい場所であること 【運営方法】 ・職員のほか、協定に基づく無償支援、有償委託（建設業者、廃棄物関係業者、警備会社等）等により確保し、運営することにしている
岡崎市	本市においては、旧一般廃棄物最終処分場敷地を災害廃棄物仮置場としております。 現状では、地域等に複数一次仮置場を設置し、そのうえで二次仮置場へ運搬することは想定していません。 本市では、仮置場は２箇所のみ設置し、住民による直接搬入を行うことと並行して、運搬が困難な住民等については、自宅前に片付けごみを出しておいてもらうことで、市（支援部隊）が回収することを想定しています。 そこで、本市では、仮置場は２箇所のみ設置し、住民による直接搬入を行うことと並行して、運搬が困難な住民等については、自宅前に片付けごみを出しておいてもらうことで、市（支援部隊）が回収することを想定しています。
一宮市	一宮市では災害廃棄物処理計画で仮置場として、環境センター以外の管理地の中から3箇所の候補地があり、これらも含め一次仮置場の選定基準は、「可能な限り被災者の生活場所に近い場所を選定する。」とし、具体的な場所や運営方法は、検討中です。
瀬戸市	各地域から持ち込むため利便性を確保し、災害廃棄物発生概算量を算定したうえで対象地域を決定する。その際は大型車両の進入ができること、学校敷地ではないこと、極力住宅密集地を避けて選定する。基本的には市職員により運営を行うものとする。
半田市	市内で災害時の使用予定がない市や県の所有している土地で選定をしている。運営については、災害時支援協定を締結している業者に委託をする。
春日井市	相当量の廃棄物を集積でき、市が単独で確保できる場所。運営は直営で行う予定。
豊川市	生活環境、搬入搬出の利便性などの設置条件に基づき選定するが、災害廃棄物処理計画上の候補地として自課の最終処分場が主となっている。 運営については、市（自ら又は委託）により行うことを想定している。
津島市	津島市は、令和２年２月に津島市災害廃棄物処理計画を策定しましたが、仮置場候補地の選定基準は環境省作成の災害廃棄物対策指針の技術資料「仮置場の確保と配置計画にあたっての留意事項」を基に、市内オープンスペースのうち３か所を仮置場候補地としています。運営方法としましては、津島市災害対策本部の環境・輸送班に位置付けられている生活環境課職員で行うこととされていますが、今後は各小学校単位で設置されているコミュニティ―推進協議会と協働で運営することも考えております。
碧南市	選定基準 ①廃棄物の保管面積に加え、収集運搬車両の通路、重機による廃棄物の選別作業や積込作業のスペース、必要に応じ中間処理施設の設備スペースが確保できる広さがあること。 ②収集運搬車両の通行が容易な道路に面していること。 ③病院や学校に近接せず、近隣住民から十分な距離を隔ててあること。 ④中長期に渡って使用できること。 運営方法 愛知県産業廃棄物協会と協定を締結し、運営することにしている。
刈谷市	災害廃棄物の仮置き場候補地は13カ所で、選定条件は、①保管高さに応じた廃棄物の保管面積に加え、収集運搬車両の経路、重機による廃棄物の選別作業や積込作業のスペース、必要に応じ中間処理設備の設置スペースが確保できる広さであること。②収集運搬車両の通行が容易な道路に面していること。③病院や学校に近接せず、近隣住居から十分な距離を隔ててあること。④中長期に渡って使用できること。としています。 運営方法は、職員を配置して対応しますが、規模等によりボランティアに協力をお願いします。
豊田市	当市では、災害廃棄物処理計画の中で、地域バランスや他の災害対策機能の拠点（救援機能拠点、ライフライン復旧機能拠点など）との整合を図り、既に市内４６か所の一次仮置場を決めている。 災害が発生した際の一次仮置場の選定は、各仮置場の被害状況やライフラインの使用可否、仮置場までのアクセス状況などを考慮し、使用の判断・選定を実施することとしており、昨年度、その中から優先的に設置する一次仮置場を３か所選定した。 なお、仮置場の運営は、災害協定を締結している豊田一般廃棄物協同組合等の支援を受け実施することとしており、その役割分担について相互理解を図りながら、今年度中に対応訓練を実施する予定でいる。
安城市	（設置条件） ・用地条件　・周辺条件　車両条件　・その他 （運営管理） ・発火及び発熱防止　・飛散防止　・悪臭対策　・土壌汚染対策　・数量管理　・仮置場の復旧 ※別紙資料
西尾市	選定基準は公園、グラウンド等のスポーツ施設、公共公益施設建設予定地等の未利用地、既存廃棄物処分場（跡地も含む）、その他民有地(ただし、農地は含まない）です。 必要な人員、資機材、分別保管方法、アクセスルート、防じん・火災対策を事前に整備することとしていますが、現状候補予定地は市有地のみです。運営方法は市職員が指導役となり、地域住民の協力を得て進めてまいります。
蒲郡市	仮置場は、市有地の中から被災時に他用途での使用予定がない用地で、面積や東西のバランス、周辺環境へ影響、交通利便性等を考慮のうえ選定し、公表しています。また収集運搬については、業者委託等を予定しています。

資料４

議題４　災害廃棄物に係る仮置場の選定等について（新城市提出）

市名	回答 （１）一次仮置き場の選定基準、運営方法について
犬　山　市	犬山市災害基本計画では、場所を特定するのではなく、仮置場選定の条件を掲載しています。 これらの選定条件に基づき市内14か所のスペースを調査し、仮置場として使用できる場所を確認しており、災害の状況や被災場所に合わせて仮置場を設置します。 仮置場選定の条件　（11項目） ・立地条件 ・前面道路幅 ・管理者 ・面積 ・周辺の土地利用 ・搬入出口の形状 ・輸送ルート ・土地の形状 ・土地の基盤整備状況 ・設備（水・電気）の有無 ・優先利用用途の有無 仮置場の運用については、災害廃棄物処理初動マニュアルを作成し、仮置場の設置の初動について掲載しています。
常　滑　市	本市は、住民に直接搬入してもらう場所を地区仮置場、選別したものを搬入する場所を一次仮置場としているが、地区仮置場については、市内各地区ごとの災害廃棄物発生量見込みを基準に、搬出入車両の進入路が確保できる場所を選定した。 地区仮置場の運営については、地区住民が相互協力により適正な運営を行うことにしている。
江　南　市	選定基準 ・住宅地から一定の距離があり、搬入に支障がないこと。 ・１年間程度以上の長期の使用ができること。 ・水源や病院、学校等に近接していないこと。 ・飛散防止、安全管理が容易であること。 ・水道、排水、電気が確保できること。 ・被災現場に近く効率的な搬入が可能であること。 ・緊急輸送道路からの良好なアクセスが確保されていること。 運営方法 市直営及び委託業者にて運営。
小　牧　市	本市では想定される被害が少ないことから被害場所や被害状況、道路状況を踏まえて仮置き場の設置及び場所を検討することとしています。
稲　沢　市	本市は平成17年に１市２町が合併しており、それぞれの地区に選定するよう配慮した。また、一定の面積が確保できる場所であることや、廃棄物処理施設である稲沢市環境センターや産廃処理施設付近であることも考慮した。
新　城　市	町内会単位で集積したものを小学校区単位の一次仮置場を設置してから運搬して分別する予定。集積所は地元管理、一次仮置場は未定。
東　海　市	環境省災害廃棄物対策室が策定する「災害廃棄物対策指針」に基づいた選定基準、運営方法とする。 現時点では必要面積86千㎡に対し20千㎡しか確保できておらず、東海市の災害廃棄物処理における最大の課題となっている。
大　府　市	【選定要件及び基準】 （１）水源や病院・学校等に近接していないこと。 （２）搬入に便利で災害廃棄物の搬入・搬出車両や作業用重機の通行が比較的容易な道路を有すること。 （３）中間処理機材等の設置・使用に支障がなく、仮置場における重機による廃棄物の積み上げや選別などの作業、再資源化処理に必要な仮設処理施設の設置が可能な面積を有すること。 （４）中長期の使用ができること。 （５）再利用・焼却・埋立て等の搬出に便利なこと。 （６）仮置き、処理・処分時の環境汚染対策が行いやすい地形・地質であること。 （７）騒音、粉塵などの発生により、近隣住民の生活環境が著しく悪化しないよう十分な距離を有し、飛散防止・安全管理が容易であること。 【運営方法】 地域住民による運営は想定されていないことから災害対策本部員による運営となります。
知　多　市	災害廃棄物処理計画の設置条件を基に選定し、地域の了承を得ている。運営方法については決まっていない。
知　立　市	公共用地を中心に選定を行い、愛知県産業廃棄物協会等の協定先を中心に支援要請して廃棄物処理業者に委託します。
尾 張 旭 市	選定基準として、小学校区毎に1 箇所を目処に設置することを検討し、「土地利用」、「法律・条令」・「面積・地形等物理条件」を勘案し選定します。 運営方法については、発災後、速やかに被災地域近郊の空地等に設置し、二次仮置場又は処理施設への搬入が完了するまでの期間、受入れを行い、廃棄物の分別保管を行うとともに、必要に応じて、重機等を用いた粗選別を行います。
高　浜　市	幹線道に面した公有地のオープンスペース（中規模以上の公園、緑地、グランド等）を指定している。運営は受付を設置するが搬入は自己搬入方式とする。
岩　倉　市	選定基準については、廃棄物の運搬車両の乗り入れの可否や使用可能面積等を総合的に勘案し選定しております。なお、運営方法については、被害状況に応じて、市職員による直営とするのか、あるいは委託とするのかを判断していくことになろうかと思います。
豊　明　市	一次仮置場としては、地域防災計画及び災害廃棄物処理計画において、市内のグラウンドを１箇所選定しています。 選定基準として、発生する災害廃棄物の推計量から算出される仮置場の必要面積を満たす場所かつ仮設住宅など他の用途で使用されることのない場所を選定しております。 運営方法としては、市職員のほか、協定を締結した資源回収委託業者にも協力を依頼します。 また、一次仮置場へ運搬する前の保管場所として、市民仮置場の設置を予定しています。当該置場の候補地には、市内の都市公園などをリストアップしています。

資料４

議題４　災害廃棄物に係る仮置場の選定等について（新城市提出）

市名	回答 （１）一次仮置き場の選定基準、運営方法について
日　進　市	別紙のとおりです。
田　原　市	別添のとおり
愛　西　市	市有地を基本とし、仮設住宅用地等と近接しないよう選定。また4地区に分際して選定している。運営方法は未定。
清　須　市	災害の種類や規模、被災エリアを考慮し、災害発生後速やかに一次仮置場を開設し、住民からの受入体制を構築するとともに、状況に応じ運営する。なお一次仮置場の選定箇所については、1,000㎡以上の公有地を8か所保有している。
北名古屋市	計画では位置付けていないが、仮置場候補地としてリストアップした場所を、被害状況に応じて災害対策本部と協議したうえで設置を行うよう調整中。
弥　富　市	選定に当たっては、必要に応じ地元自治会と平時に調整を行う。 運営方法は、搬入検査・誘導等業務ごとに複数名を配置する（市職員、委託業者等）。 ※計画では上記のとおりであるが、現状は調整できていない。
み よ し 市	予定地を定めているが、災害廃棄物処理計画未策定のため、具体的な運営方法は今後策定。
あ　ま　市	本市の防災部局がもつオープンスペース一覧より大量の廃棄物を置くことができ、交通状況の妨げにならない場所、近隣に住宅が少ない場所を選んでいる。災害廃棄物処理計画では、運営については、職員（他部署応援を含む）で行うこととしているが、状況によっては、業者等の委託も含め行っていきたいと考えている。
長 久 手 市	【選定基準】 被害想定における災害廃棄物発生量推計を基に必要面積を算定し、それを満たす場所を、地域防災計画及び災害廃棄物処理基本計画で一時仮置場候補地として選定し、位置づけている。 【運営方法】 ・　発災後速やかに、被災地域の範囲や被害状況を踏まえて、用地を確保。 ○ 被災状況を反映した発生量を基に、仮置場の必要面積を推計し、仮置場の増設の必要性を検討。 ○ 発災翌日までには、受付、分別のための立札や仮山、シート、場内の分別配置マップ等を準備し、一次仮置場を開設。 ○ 廃自動車等が多量に発生した場合は、廃自動車置場を別途設置。 ○ 開設に当たっては、終了後の土地の復旧・返還時の土壌分析に備えて、土壌の採取を実施。 ○ 開設後は、環境対策や火災対策、渋滞対策、不法投棄の防止等にも配慮。